

雜 錄

南半球に於けるヒメブナ屬の兩心分布と Archinotis 古大陸

小 泉 源 一

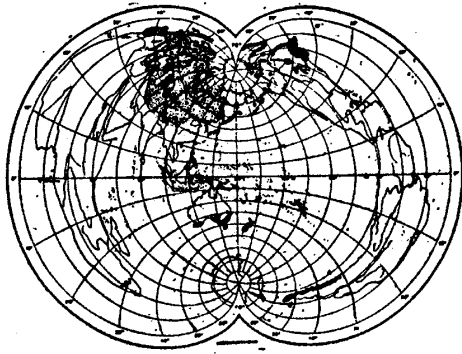
侏羅紀の終に現れし被子植物は、急激に發展して、白堊紀の終には、其部屬の數も地球上に於ける廣大なる分布状態も、現今と餘り大なる差異なきまでに達せしは、植物進化發展地理上、極めて著甚なる事なり、此白堊紀の時代に當りて、現今地球上には全く跡かたもなき、或は僅に一部分のみ残り居る古大陸ありて、白堊紀に於ては被子植物中の著甚なる部類の進化や地理的分布の上に重要な歴史を残せるものあり。

一は南米の南端より南極洲を包括し、更に此處より新西蘭土、濠太利亞大陸につづき古大陸にして一九〇七年 H. IHERING 氏の Archinotis と名けしもので、他は熱帶亞弗利加と熱帶南亞米利加とを連結せし同氏の Archihelenis 大陸なり。

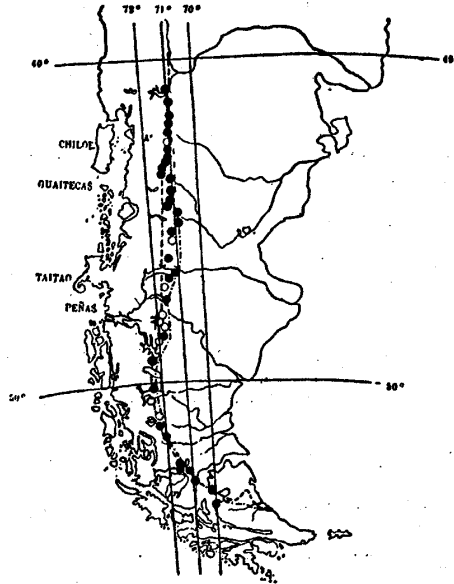
此兩古大陸は共に第三紀の始まで存在せしも相互に一回も陸地連續の狀になりし事なし、此古き南半球大陸の残りの一部を以て發達せし現世の南半球の兩大陸なる南米の南端と濠洲を中心とするタスマニア、新西蘭土には第三紀の初以來ヒメブナ屬 (Nothofagus) なるものありて Archinotis 大陸に廣く分布せしが、該大陸の分裂以後今日は南半球に二大分布中心を有するが如くに成れり。

之等はヒメブナ屬の地史的分布と現世分布の上より如此結論に到らざるを得ざるが、此に亦南半球に於てヒメブナ屬と同一兩心分布をなすコゴメグサ屬 (Euphrasia) あり、本屬植物は草本にして現今畧百種あり、主として歐亞大陸の溫帶寒帶に分布し、北米大陸にては唯寒帶亞寒帶にのみ分布し、北米の大部分、中米、南米の大部分には分布せず、南米にては唯ヒメブナ屬と同様智利のアンデス山地にのみ分布せり、然るに東亞にては臺灣より南にフィリッピン、馬來群島のボルネヲ、セレベス、バプアを経て濠洲の極南地域、新西蘭土、タスマニアに分布す。G. E. du RUIZ 氏によれば此臺灣より以南の南方への分布系統の各種は形態的にも密接の關係を保ちつつ終に南米の南端の各種に連り、南米のものは明に中米經由の如き痕跡は分布上にも形態的にも全くなしと云ふ。

之を以て見ればコゴメグサ屬の如き進歩せし部屬も既に遅くとも第三紀初には地



コメグサ属分布



南米に於るヒメフナ属分布

球上に出現してオーストラシア古大陸より Archinotis へ分布したるものと考えらるを得べしと云ふ。

白堊紀より第三紀初にありし Archihelenis 古大陸は亦其地史的生物分布上及び現世生物分布上種々の面白き事實あれどもポドステモン科の如きは此古大陸の西方に出現せしものに非ずと考へらる。ポドステモン科植物は現今四十五属二百種あり、其形態は苔状、地衣状、蘚状乃至藻状を呈し兩熱帯及亞熱帯に廣分布をなし、尙北米の東部温帯及亞弗利加の温帯に及び、常に激流奔湍の岩上に生じ水中の砂土や泥土に生ぜず、滞水中に死す、其最も種類に富むのみならず系統的に古き種類をも有するは南米の東北熱帯にして次は亞弗利加なり、舊熱帯にては東方に行くに従て少くして其東北端は日本の九州南端なり。

ポドステモン科植物は淡水生なるを以て海を渡りて分布せず、然も亞弗利加及米大陸には共通の属さへあり又兩大陸の淡水魚にも共通の種属あり、此淡水魚は海を渡りて分布するものに非ずと云ふ、之等の事實より察すれば本科の如きものは硅酸を含むものありて化石にも出でざるなしとせざるも其地史的分布の状は少しも明ならず、然も本科植物の如きも茛菪花群と同じく、双子葉植物發展の早き時季に於て既に岐路に向ひしものなるべく、其殊に虎耳草科と關係ありと見らるる點にても一方は茛菪花群、一方は水中に極めて簡單なる花を有する極端のポドステモン科となり既に白堊紀より第三紀初に於て出現せしを想はしむ。

ポドステモン科は現今濠洲には全く産せず、之れ遠く白堊紀及び第三紀初に於て Archihelenis と Archinotis とは一回も陸地連絡をなせし事なきを以てなり。